参考資料３

循環型社会施策推進部会でいただいた意見一覧

「京・資源めぐるプラン」の中間見直しに関して、循環型社会施策推進部会で委員からいただいた意見を記載する。内容によっては一部要約している。

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				
			２R	サイクル分別・リ	アブル等リニュー	啓発	キーワード
第10回施策部会	答申案	発生抑制が最も大事であるはずだが、強化すべき施策の最初が資源物回収の強化、すなわちリサイクルであるのは違和感がある。単に順番の話ではなく、姿勢が表れている。（佐藤委員）	○				発生抑制
第10回施策部会	答申案	レジ袋やペットボトルの目標について、達成は難しいかもしれないが、具体策を書かずに覚悟を持って目標を残しますというのは答申として無責任だと感じる。プラスチック分別率も現在の48％を60％にする目標についても、具体策がないと上がらないと思う。（佐藤委員）	○	○			レジ袋 ペットボトル プラスチック分別実施率
第10回施策部会	答申案	リユースについて、資源物回収の強化の項目に出てくるものの、色合いが薄いように感じる。リユースのモニタリング指標を加えることができないか。衣類と家具について、排出時と購入時のリユース選択率をアンケートで今から押さえておくべき。（山川委員）	○				モニタリング指標 リユース選択率
第10回施策部会	答申案	CCUS（二酸化炭素の回収・利用・貯留）について、現実的にS（貯留）の可能性はあるのか。やるならどこでやるのか。（山川委員）					CCUS
第10回施策部会	答申案	ごみ量の将来予測について、景気が良くなれば個人消費が増え、家庭ごみの量も増えるのではないか。（山根委員）					家庭ごみ量
第10回施策部会	答申案	バイオマスプラスチックの導入状況のモニタリングを継続していくとのことであるが、例えばレジ袋使用量とオフセットされた量を評価していくことはできないか。また、ペットボトルについても、ボトルtoボトルの取組も含めて評価していくことはできないか。（山下委員）	○	○	○		バイオマスプラスチック ボトルtoボトル
第10回施策部会	答申案	ペットボトルに関して、同業者でも社内で出す飲み物は金属製に変えたり、出されたペットボトルは飲まないようにしたりしているという声を聞く。こうしたことが広がるような取組を京都市として検討できないか。（山下委員）	○				ペットボトル

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２Ｒ	分別・リサイクル	リニューアブル等	啓発	
第10回施策部会	答申案	衣類に関して、ファストファッションが進んでおり、適量購入をはじめとした発生抑制も重要。国もリユースを押しているが本当にリユース品のニーズがあるのか疑問に感じる。（矢野委員）	○			○	ファストファッション対策
第10回施策部会	答申案	資源物回収のモニタリングは重要である。可能であれば、1人当たり原単位や利用者数を把握できると良い。指標として設定できなくてもデータ収集はしておくべきである。民間回収分も含めて数字を押さえられるとより良い。（矢野委員）		○			モニタリング指標 資源物回収
第10回施策部会	答申案	食品廃棄物対策について、食品ロス対策を強化すべき施策に書いておくべきではないか。（崎田委員）	○				食品ロス対策
第10回施策部会	答申案	レジ袋使用量の削減に向けては、生ごみを捨てるために利用している方が多いと思うので、国や事業者と連携して、バイオマスプラスチックをはじめ、別のものを使ってもらうなどの対策が必要。（上原委員）	○			○	レジ袋 バイオマスプラスチック
第10回施策部会	答申案	ペットボトル削減に向けては、給水機の最適配置が重要。流量計を用いて利用が多い箇所に重点的に配置すれば、限られた予算を有効活用できる。自身の大学でも給水機の設置によりペットボトルの排出量が減少している。また、給水機に温水が出る機能やボトル洗浄機能があるとより効果的である。（上原委員）	○				給水機
第10回施策部会	答申案	強化すべき施策の⑴の前に、「リデュース方策の推進・徹底」という項目で、先ほど出た追加方策とこれまでの対策は維持することの宣言を2～3行で書かれてはどうか。（酒井部会長）	○				リデュース 発生抑制
第10回施策部会	答申案	ペーパーレス化について、テイクアウト容器がプラから紙に替わる傾向がある。万博でもそうした事例があったため、急遽資源化できるルートを作った。京都市としても、ごみ量への影響や再資源化方策についても検討しておくべき。（崎田委員）			○		素材転換
第10回施策部会	答申案	「簡易包装」という表現は古く、今までどおりと感じるので、包装のリデュース促進、包装削減促進、発泡容器の発生抑制などに変えた方が、これからやろうと思っていることにフィットするのではないか。（山川委員）	○				簡易包装
第9回施策部会	中間見直し全体の方向性	「資源循環・脱炭素化に向けた方針」を「京・資源めぐるプラン」の基本理念の下に盛り込むという説明であった。その意味では、発生抑制との関係を丁寧に追記しておくことは必要である。（酒井部会長）	○				中長期的な推進方針 発生抑制

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	サイクル	分別・リサイクル等	アリブニュー	啓発	
第9回施策部会	中間見直し全体の方向性	ごみの発生抑制を徹底したうえで資源循環・脱炭素化を目指すという内容にすべき（崎田委員）	○					中長期的な推進方針 発生抑制
第9回施策部会	中間見直し全体の方向性	プラスチック対策にだけ発生抑制を掲げているが、衣類対策にこそ発生抑制が必要（矢野委員）	○					衣類対策
第9回施策部会	中間見直し全体の方向性	行政主導のごみ減量の取組が効果的なものが多く、今後の発生抑制施策は「乾いた雑巾を絞る」活動に突入する次元である。市民生活に効果的に働くインセンティブを導入することで市民の協力が得られると考える。（山下委員）	○					インセンティブ付与
第9回施策部会	中間見直し全体の方向性	中長期的な推進方針一つ目の「地域の課題解決や活性化につながる資源循環の推進」について、地域の観点は当然であるが、その先には世界の資源の持続性、あるいは日本の資源安全保障への貢献につながっていることへの意識が必要。（酒井部会長）						中長期的な推進方針
第9回施策部会	指標の見直し	使い捨てプラスチックの定義はしっかり明記し、伝える工夫が必要である。容器包装プラスチックは使い捨てであることは間違いないものの、一般市民はそれを想像しづらいと思うので配慮いただきたい。（矢野委員）					○	使い捨てプラスチック
第9回施策部会	指標の見直し	ごみ量関係指標の上方修正に関して、ごみが減る要素のみだが、増える要素は考えられないのか。オーバーツーリズムと呼ばれているように観光客の増加要素はあると思うので、それを考慮した目標設定をお願いしたい。（山根委員）						オーバーツーリズム
第9回施策部会	指標の見直し	既に認知されている2050年ゼロカーボンとあわせて、2050年ゼロ・ウェイストのような目標を掲げて進むというやり方もあるのではないか。みんなが協力するには、わかりやすい指標が良い。（崎田委員）						目標設定
第9回施策部会	指標の見直し	気候変動を止めるために、例えば5年かけて家庭から出る生ごみを燃やさなくするとか、プラスチック排出量半減を目指すとか、目が覚めるような大きな目標設定が必要でないか。（佐藤委員）						目標設定
第9回施策部会	指標の見直し	大災害が発生した場合への対応について考えておかないといけない。増加要因をすべて捨てて、減少要因のみを考えるのは安直である。（酒井部会長）						災害廃棄物

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・サイクル リ	アリブル等ニュー	啓発	
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	R12までの整備スケジュール案について、R12の共用開始を目指して検討していくという内容は理解するが、この書き方では検討が十分に進まないのではないか。移行期間の対応の柔軟性はよく検討いただきたい。特に、R12までの間も既存拠点の機能強化をモデル事業として実施するなど、地道に進めていくことで、次の新規拠点へのデータ反映も可能になる。（酒井部会長）		○			資源物回収拠点
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	これまでの部会でもリペアカフェ併設の提案をしてきたが、資源物回収拠点に、資源循環の世界を感じられるような様々なアイデアがあり、刺激を受けられる場所にすることが機運醸成につながると考えている。（佐藤委員）		○			リペア
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	他都市では、資源物回収拠点でアップリサイクルしたものの販売を行っていたり、生ごみの液肥を活用して野菜を栽培し、それを活用したクラフトビールが作られていたりする事例がある。運営体制について、例えば民間事業者が資源物回収拠点を運営すれば、行政よりもこういった活動を発展させやすいのではないか。このような活動を通じて市民のライフスタイルの転換に繋がるようなことはできないか。（崎田委員）		○			官民連携
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	家庭ごみ細組成調査で得られる燃やすごみ中の資源物量のデータと、資源物の拠点回収量をセットで活用して、排出量全体の中で資源物として回収されている割合を整理できないか。資源物回収拠点整備の参考になる情報を集め、発信してほしい。（矢野委員）		○			資源物回収拠点
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	資源物回収拠点で何を排出したかのデータ取得やポイント付与など、次の施策につながることは考えているか。（高岡委員）		○			データ取得 ポイント付与
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	資源物回収拠点で缶・びん・ペットボトルやプラスチック類のような定期収集の対象品目を回収できないか。（山根委員）		○			資源物回収拠点
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	充電式家電にリチウムイオン電池が使われていると意識している人は多くない。回収はリチウムイオン電池製品のみを対象とするのか、幅広く充電式電池を対象とするのか、あるいは様々な充電式電池が一定量混在する前提で設計するのか等の検討課題があると思う。（矢野委員）		○			リチウムイオン電池
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	小型家電の回収ボックスが溢れやすい問題があるとのことだが、どのような条件であれば溢れるのかを整理したうえで検討を進めないと、単に回収方法を絞るのは、回収量が減るのではないかと懸念する。また、リチウムイオン電池を内蔵していない小型家電の回収を大規模回収拠点だけにすると、徒歩でしか移動ができない人が排出を諦めざるを得ない状況にならないか。（山川委員）		○			小型家電
第9回施策部会	資源物回収拠点の拡充の方向性	小型家電回収は、リチウムイオン電池を原因とした火災対策が基本の目的になると考えるが、同時に高品質のプラスチックが回収できるという視点も認識いただきたい。（矢野委員）		○			小型家電 リチウムイオン電池 プラスチック

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別					
			対策別					キーワード
			２Ｒ	分別・リサイクル	リニューアブル等	啓発		
第8回施策部会	リチウムイオン電池対策	リチウムイオン電池の拠点回収について、回収のしやすさ、火災事故防止の観点でも、消防署のような、知見を持ったところで、広く安全に回収できる拠点の整備することは良いことである。（山下委員）		○				リチウムイオン電池
第8回施策部会	リチウムイオン電池対策	リチウムイオン電池対策は、市とも共通認識を持って取り組んでいるが、袋の中に入ってしまうと気づけないので、やはり市民と排出事業者の意識を高めていただきたい。また、上流対策も必要で、発火しない電池を開発してもらうことが一番である。京都環境事業協同組合も協力して、回収拠点の設置や拠点からの回収に協力できたらいいと思う。（山根委員）				○		リチウムイオン電池
第8回施策部会	リチウムイオン電池対策	リチウムイオン電池に関して、中高生でもリチウムイオン電池が使われた製品をよく使うと思うので、例えば地域での一緒に啓発活動をするなど、中高生と連携した取組ができると認知されやすいのではないか。発火の映像を見ればかなり印象に残るので、そういった機会を中高生あたりに増やすことも一案である。ターゲットを識別しながら、対策を検討していただきたい。（山川委員）				○		リチウムイオン電池 中高生連携
第8回施策部会	まごころ収集	「まごころ収集」は福祉と連携した大事な取組であると思う。（下田委員）						まごころ収集
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	食品ロス対策について、京都大学で食品の廃棄頻度に関するアンケートを実施したところ、買い物の前に冷蔵庫の中身を確認することは食品廃棄の削減にかなり効果があるという結果であったので、今後の市民啓発に活用いただければと思う。（矢野委員）	○					食品ロス
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	ごみ処理手数料は2倍にしてもらう必要があると思う。やはり食品リサイクル料金との価格差があり過ぎるとリサイクルは進まないし、処理事業者側もコストを適正に徴収していくことが大事であると思う。（崎田委員）		○				食品リサイクル 手数料改定
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	食品リサイクルの好事例を発信して、商店街などで取り組んでもらうような戦略が必要ではないか。すでに取り組んでいる団体とも意見交換をしながら、京都市に向いた方法を検討し、大きな輪にしてほしい。（崎田委員）		○				食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	生ごみ対策に関して、過去の助成事業の復活も含め、今後を総合的に考えた再整理が必要ではないか。（酒井会長）		○				食品リサイクル

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・リサイクル	バイオマス等	啓発	
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	子どもの学校では、家庭から生ごみを学校に持っていき、コンポストに入れて肥料にして、学校の菜園で活用するという取組をしている。ごみが肥料になることを子どもたちが実感できる良い取組であると思う。一方で、生ごみを肥料にした場合、需要と共有のバランスが取れるのか疑問に思う。（下田委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	市手数料と民間施設の受入料金の価格差について、民間施設も人件費が上がっているので、その差を埋めようと思うと市手数料のとんでもない額の値上げが必要になる。今年4月の手数料改定に合わせて契約料金を5円/kg上げようと動いたがこれだけでも非常に苦労した。飲食業界も値上げが続き、苦労している状況で民間施設との差を埋めるような値上げは現実的ではない。（山根委員）		○			食品リサイクル 手数料改定
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	事業系の食品リサイクルに関して、食品ロス削減を徹底したうえで、例えば、大きな商業ビルの地下にリサイクル装置を導入してもらう、商店街単位でリサイクルループを作ってもらう、こうした動きを支援することはできないか。多くの方が共感できるストーリーを持ったリサイクルループを作っていくことが重要であると思う。（崎田委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	事業系の食品廃棄物リサイクル率に関して、民間施設では合計1万トンの余力があるとされているが、現場目線では本当にそんなにあるのかと感じる。（山根委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	生ごみリサイクルは京都市の近くに施設がないと厳しい。我々も三重県まで往復3時間かけて生ごみを少しだけ載せて運んでいるが何のためにしているのか疑問に思う。特に生ごみは腐りやすく、置いておけるものではない。大手なら自分で冷凍庫を用意して保管することができるが、中小の飲食店が取り組めるものではない。（山根委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	大規模小売店舗立地法から食品リサイクルせよということは言えないと思うが、せっかくごみの部署が会議に入っているので、できればリサイクルに取り組んでもらえるようプレッシャーをかけてもらえないか。既存施設の場合は保管スペースの課題が出てくるが、新規施設の場合は対応しやすいと思う。（山川委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	発生抑制の成果が上がっていることはすばらしいと思いつつ、これまでの延長線上の対策では厳しいと思う。分別収集と資源化を速やかに検討していくべきではないか。課題はあるにせよ、海外でできていることが京都でできないはずがないと思う。（佐藤委員）		○			食品リサイクル
第8回施策部会	バイオマス対策（生ごみ）	生ごみ対策については、ごみの視点のみならず、食のあり方といった視点も持って検討いただけると良いと思う。（浅利委員）				○	食のあり方

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・リサイクル	リユール等	啓発	
第8回施策部会	紙おむつ対策	紙おむつリサイクルに関する検討を行ったことがあるが、衛生面の問題が職員の負担になっていること、分別されたものがあまり有用な資源物として活用できないことが課題であったことから、現時点での優先度はそれほど高くなく、クリーンセンターでも負担なく処理できるような状況であれば、動向を注視する方向で良いと思う。（山下委員）		○			紙おむつリサイクル
第8回施策部会	紙おむつ対策	紙おむつリサイクルはできれば良いと思うが、現場の声として、紙おむつのみを集めて処理することは、衛生面の問題もあり、昨今の人手不足で大変ななか、収集員の理解を得るのも苦労するということは分かっておいてほしい。（山根委員）		○			紙おむつリサイクル
第8回施策部会	耐久消費財対策	小型家電は、プラ素材としても注目されると思うので、回収量向上策について、他の自治体の好事例なども参考に、検討できればと思う。（浅利委員）		○			小型金属 プラスチック
第7回施策部会	耐久消費財対策	京都市役所の率先実行も重要である。市が「おいくら」を活用することも一案である。（山川委員）	○			○	市率先実行
第7回施策部会	耐久消費財対策	大型ごみ、持込ごみの受付のホームページで「ジモティー」や「おいくら」を紹介しているとのことだが、「もっぺん」も紹介すべきではないか。（山川委員）	○			○	リペア
第7回施策部会	耐久消費財対策	メルカリも効果的だと思うが、市内のリユースショップは製品を見る目、修理能力、販売力、調達網といったノウハウを持っているため、上手く連携していくことでノウハウを活用して効果的に粗大ごみの削減につなげられるのではないか。（上原委員）	○				リユース 民間活用
第7回施策部会	耐久消費財対策	引越業者と協定を結び、リユースを促進できないか。引っ越し後に不要なものを引越業者がリユース先まで運搬する仕組みがあると良いのではないか。利用者にとっては、引っ越しとまとめて依頼できると利便性が高い。（山川委員）	○				リユース 民間活用
第7回施策部会	耐久消費財対策	耐久消費財の循環利用できる体制の構築として、リユース可のものは、民間のサービスを誘致、特にジモティースポットの取組は期待できると思う。（高岡委員）	○				リユース 民間活用

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・リサイクル	リユース等	啓発	
第7回施策部会	耐久消費財対策	大阪・関西万博では、万博で使用した施設・設備・什器を期間終了後にリユースできるよう「ミャク市」というマッチングプラットフォームサイトを開設している。こうした仕組みも参考にして、京都市らしい取組を検討してほしい。（崎田委員）	○				リユース
第7回施策部会	耐久消費財対策	関東を中心に業界団体がスプリングマットレスをリサイクルしようという動きが出始めている。こうした動きもうまくキャッチアップして、連携協定を結ぶことも含めて、今後の対策を検討しても良いのではないか。（浅利委員）		○			スプリングマットレス
第7回施策部会	耐久消費財対策	小売店での小型家電の回収ボックスを設置については、すぐにボックスから溢れてしまうこと、時期によっては回収物をバックヤードで保管できるスペースがないこと、回収対象外の混入が課題である。（梶原委員）		○			資源物回収
第7回施策部会	耐久消費財対策	大学生は4年ほどで卒業するため、まだ使えるものが捨てられることが結構あるため、できるだけ拠点回収を進めていくべきである。大学生協等に協力いただくことも一案である。また、「おいくら」というサービスを積極的に学生に周知してもらいたい。（上原委員、矢野委員）		○			資源物回収 大学連携
第7回施策部会	耐久消費財対策	今後の回収拠点の運営主体が官民連携になっていくことは必然だと思うが、一つの方式に限るのではなく、柔軟な協調運営体制を念頭に置いて検討してくことが重要である。先行して協定を結ぶところはその事業者を大事にして、より全体としての効率性、効果を考えていってほしい。（酒井会長）		○			資源物回収 民間活用
第7回施策部会	耐久消費財対策	今後の資源回収については、共働きや核家族が増えるなど、ライフスタイルが変わってきているので、どの時間でも出すことができる拠点を設置することが重要である。（高岡委員、山下委員）		○			資源物回収
第7回施策部会	耐久消費財対策	最近では民間事業者による不要品のマッチングアプリのような仕組みも増えてきているので、うまく連携して京都市らしい取組ができると良い。東京都葛飾区では、年間5万枚の寝具類が粗大ごみとして排出されているが、㈱yuniの布団の回収・再生サービス「susteb（サステブ）」と連携して、すべて資源化する取組を開始している。再資源化された素材は、しまむらの寝具に活用されている。（崎田委員）		○			寝具
第7回施策部会	耐久消費財対策	寝具に関して、自身も使えなくなった敷布団の処分を悩んでおり、「susteb（サステブ）」の利用も検討したが、個人で送ると5千円程度必要であり、環境意識が高く、経済的にゆとりがある方しか使えない仕組みになっていると感じるので、自治体としてこの枠組みに入ってもらえると、すごくありがたい。（佐藤委員）		○			寝具

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・サイクル・リサイクル等	アフターリユール	啓発	
第7回施策部会	耐久消費財対策	例えばマンションや公営住宅などに、さらに小規模な拠点があるとより良いのではないか。併せて、不要になった家具を置いておくことができ、他の住民が自由に持ち帰ることができるような取組ができるとより良い。（崎田委員）		○			資源物回収
第7回施策部会	耐久消費財対策	（浅利委員指摘の）適正処理困難物への対応も極めて重要なことであるので、常に視野に入れながら検討してほしい。（酒井会長）					適正処理困難物
第7回施策部会	衣類対策	資源物としての排出の方法や機会はたくさんあるようだが市民には分かりにくいと思う。市民の情報入手手段は様々なので、効果的な周知手段を調査する必要があるし、実際に行った周知事業についてはその効果を把握、分析する必要がある。（上原委員）	○	○		○	資源物回収
第7回施策部会	衣類対策	「RELEASE⇔CATCH」のリユース促進の取組は良いと思う。特に大学でやった場合、古着を出す方と古着を得る方の層が近いので、有効な取組になるのではないか。例えば、毎月異なる大学で実施するような巡回型にすれば、専属のスタッフをつけられるだけの利益も出るようになるのではないか。（上原委員）	○	○			RELEASE⇔CATCH 大学連携
第7回施策部会	衣類対策	衣類の回収に関して、拠点回収やコミュニティ回収、店頭回収など様々な回収方法があるなかで、総合力を上げていくことが重要である。今後それぞれの回収量をどの程度までどのようなバランスで増やしていく方針か全体像のイメージを持って進めてほしい。（崎田委員）	○	○			資源物回収
第7回施策部会	衣類対策	㈱ECOMMITは、行政と連携して「PASSTO」という資源回収ボックスを様々な場所に設置する取組を行っているなど、事業者のなかでも、意識改革が起きているように感じる。市民による取組も増えてきているということなので、様々な主体による地域循環の取組が重層的に広がっていく絵が描けると良い。（崎田委員）	○	○			資源物回収
第7回施策部会	衣類対策	国の動向もフォローしておく必要がある。国の目標では「2030年までに家庭から廃棄される衣類の量を2020年度比25%削減、手放される衣料品のうち繊維to繊維リサイクルで5万トンを処理する」とされている。（矢野委員）	○	○			衣類対策 国目標
第7回施策部会	衣類対策	リユースに関する環境教育の充実も必要ではないか。高校や大学で自身のファッションの方向性が変わりやすい時代にリユース品を積極的に活用してもらえるようにしていくべきで、そのためには、小・中学生の頃から周辺にあるリユース、リペアショップを調べるなど、リユース品を着用することへのハードルを下げておく必要がある。（山川委員）	○			○	リユース 環境教育

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別					
			対策別					キーワード
			２R	サイクル	分別・リサイクル	アブリニュル等	啓発	
第7回施策部会	衣類対策	リユース優先や若年層リテラシーという点は中長期的なポイントになる。教育部局と連携して、体操服のように共通化できるところと、それは難しいが次善的対策ができるものというような、階層的な展開を考えることができると良いのではないか。（酒井会長）	○				○	リユース優先 若年層リテラシー
第7回施策部会	衣類対策	「RELEASE⇔CATCH」の取組は素晴らしいと思う。持続可能な取組にしていくためには、補助金に頼らず自走していくことが重要であると思う。（佐藤委員）	○					衣類対策 「RELEASE⇔CATCH」
第7回施策部会	衣類対策	意識の高い方はフリーマーケットやリユースショップを積極的に利用される一方で、リユース品に興味はあるが、近隣の方の目が気になり、リユースショップに行くことにハードルを感じる方もいるので、リユース品を新品と並べて販売するなど、販売場所を工夫すれば、さらに衣類の循環が進むのではないか。（山下委員）	○					リユース
第7回施策部会	衣類対策	衣類を店頭回収して、染め直してまた販売するといった取組をもっと評価していくことも必要。それ以外にも、リユースコーナーを何十年も前から設置されている大手百貨店もあるので、こうした取組を広げていくことも重要。販売事業者に関心を持ってもらい、実際に取り組んでもらう必要がある。（崎田委員）	○					民間活用
第7回施策部会	衣類対策	衣類対策としては、リユースを優先して進めるべきで、市民の機運醸成のためにも、京都市役所の率先実行が必要。特に学校の制服、体操服は、学校や学年ごとに異なっていたり、氏名の刺繍が入っていたりとリユースの妨げになるものが多い。リユースを前提としたものに変え、卒業後、回収、販売の流れを常識にできると良いのではないか。その際は、極力民間を活用して、事業者が収入を得ることができる仕組みになるよう検討するべき。（山川委員）	○					リユース 市率先実行 民間活用
第7回施策部会	衣類対策	子どもの小学校ではPTAに体操服などの学用品のリユースを進めるチームがあり、授業参観のときなどに回収をして、保護者が無償で持って帰ることができるという活動をしており、人気がある。制服を統一化することは難しいかもしれないが、体操服を統一化できると、学校を超えてリユースの輪が広げられるため、良いと思う。（佐藤委員）	○					学用品リユース
第7回施策部会	衣類対策	市民が主体となり、衣類を無償でやりとりする「交換会」が増えているが、保管場所や残ったものの処分費など、どうしても必要な経費は発生する。コミュニティ回収に対する支援と同様に衣類のリユースに取り組む団体に対して金銭的な支援ができないか。（佐藤委員）	○					金銭的支援
第7回施策部会	衣類対策	私自身も衣類回収を利用しているが、リユース品を買うことの方が少なく、出す方が多い。これはほかの方も同じではないかと思うし、資料の数字にも表れている。ここが課題だと思う。（佐藤委員）	○					リユース

会議名	テーマ・品目	意　見（発言者）	意見の種別				
			対策別				キーワード
			２R	分別・リサイクル	リニューアブル等	啓発	
第7回施策部会	衣類対策	衣類回収をより促進する観点では、何らかのポイント付与ができればよりインセンティブが働く。（上原委員）		○			インセンティブ
第7回施策部会	衣類対策	コミュニティ回収での衣類回収の維持・拡大に向けて、もっと強調してお願いすることや少しのインセンティブを付与することで、さらに回収量が増えるのではないか。（高岡委員）		○			コミュニティ回収 インセンティブ
第7回施策部会	衣類対策	資源物回収の全体像、全体バランスの検討が必要という点は非常に重要。そのためには、まち美化事務所等の拠点回収の実績のフローを整理し、本当に効果が出ているのかを把握する必要がある。そのうえで、資源物回収の全体構想をしっかり作っていかれることが重要。様々な拠点の役割、コミュニティの役割、民間の役割を京都市としてはこう考えるということを整理されることが重要である。（酒井会長）		○			資源物回収
第7回施策部会	衣類対策	京都では貴重な着物が自宅で眠っているケースも多いと思うので、そうしたものを活用していく観点も重要。万博でも着物をアップサイクルしたものを販売する予定である。価値のあるテキスタイルを生み出す文化がある国は限られているので、世界からも注目されている。（浅利委員）			○		着物 アップサイクル
第7回施策部会	衣類対策	長寿命化、リペア、着物のアップサイクルなど、京都的な取組をどのように展開していくかの検討が必要。ブランディング＆リユース的な発想で、環境政策局を超えて伝統産業も含めた産業政策とともに京都市として考えていくことが必要になる。（酒井会長）			○		リペア アップサイクル 京都らしさ
第7回施策部会	衣類対策	衣類対策については、世界的には人権面も課題となっているため、その点も含め、総合的に今後の方向性を検討していくべき。（浅利委員）				○	衣類対策
第7回施策部会	衣類対策	まち美化事務所で絵本や洋服など、様々なリユースの取組をされているのは非常に良いと思う。そうした場でリペアカフェのような取組もできるとさらに良いのではないか。（佐藤委員）					リペア
第7回施策部会	衣類対策	衣類の長寿命化も必要であり、リペアの推進が重要である。京都は着物文化があり、リペアに関する事業者も多いと思うので、そうした事業への支援も必要ではないか（矢野委員）					長寿命化、リペアへの支援